

# 1 自己評価及び外部評価結果

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3990100210		
法人名	医療法人 仁照会		
事業所名	グループホーム ほっと館		
所在地	高知市春野町秋山1599-1		
自己評価作成日	平成26年11月28日	評価結果 市町村受理日	平成27年4月14日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

長く努めている職員が多く、ホーム全体が家族のような、アットホームな雰囲気になっている。入居者の方も、その雰囲気の中で、家族の一員のように暮らされているが、個人の尊重は十分に理解し、アットホームな中でも、その人らしく暮らしていけるような援助を心がけている。毎月の月例会では、マニュアルを基に繰り返し、身体拘束や虐待防止、感染症予防、防災等について話し合っており、ホームの掲げる運営理念の実践に努めている。特に、防災については、運営推進会議などでも、地区の方々と情報交換を行ったり、地域の防災訓練に参加するなど、重点をおいて取り組み、意識を高めるようにしている。

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaisokansaku.jp/39/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kihon=true&amp;jizyosyoCd=3990100210-00&amp;PrefCd=39&amp;VersionCd=022">http://www.kaisokansaku.jp/39/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kihon=true&amp;jizyosyoCd=3990100210-00&amp;PrefCd=39&amp;VersionCd=022</a>
----------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	高知県社会福祉協議会
所在地	〒780-8567 高知県高知市朝倉戊375-1 高知県立ふくし交流プラザ
訪問調査日	平成27年1月8日

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は田園地帯に立地し、周辺には自然豊かな環境がある。  
 事業所の行事への参加を地域へ呼びかけ、地域の敬老会、クリスマス会には利用者が参加し、文化祭にも利用者の作品を出品して地域交流に努めている。また、事業所の前が遍路道でもあり、巡拝の人にトイレ休憩のサービスを行い、お礼に珍しい納め札をもらうこともあり、利用者の喜びになっている。  
 ケアに当たっては、母体の医療機関と連携を密にし、訪問看護や医療面の対応にチームで取り組む体制ができており、家族や利用者にとって安心できる事業所になっている。職員は内部、外部の研修に参加し、職員会等では各種のマニュアルに沿って具体例をもとに話し合うことで利用者やケアへの理解を深めている。管理者を中心に、職員は仕事への熱意をもって良くまとまっており、理念を念頭に置いて個人を尊重した利用者中心のサービスを提供している。

# 自己評価および外部評価結果

ユニット名：大地

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	運営理念に地域社会へ生活の場を広げること掲げている。月に一度、職場内研修を行い、職員の意識統一を図っている。また、運営推進会議では、地区の方の参加をお願いし、入居者ともども、地区との関わりを持つよう努めている。	「利用者の尊重と地域社会への場を広げていく」という理念を作成し、月例会でテーマを決めて職場内研修を行うなかで、理念を共有して職員の意識統一を図り、実践につなげている。	
2	(2)	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	震災や災害対策の地区の会に出席し、情報をいただいたり、地区の方の訪問で、避難場所を検討したり、陳情を一緒に行なうなど、日常的な交流に努めている。	地区の災害対策などの会に参加して避難場所を検討したり、地区の季節ごとの催しに出かけたり、事業所の行事にも声かけをしている。しかし、地域住民の来訪が少ない。地元農家からは、野菜の差し入れや畑づくりへの助言などがある。	住民に事業所の存在を広く周知し、事業所内や利用者を理解してもらうためにも、住民が気軽に訪問できる機会や雰囲気作りへの工夫を期待したい。
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議などで、職員が受講した研修について、内容を報告したり、ホームでの取り組みなども報告し、助言をいただくなどしており、認知症の方への理解をしていただけるような取り組みを行っている。	/	/
4	(3)	<b>○運営推進会議を活かした取り組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族や地区の代表者に、サービス内容や取り組みなどの報告を行い、質問や意見を述べていただき、自己満足でない、第三者の意見や意向も、出来る限り取り入れて、サービス向上に活かすようにしている。	事業所の取り組みや外部評価結果などを報告し、意見や要望を聞いて運営に反映するように努めている。会議に出席していない家族には、議事録を送付し、また事業所でも閲覧できるようにしている。家族の参加が少なく、開催日や時間を検討している。	会議の開催日や時間の検討により、参加者が固定することなく、できるだけ多くの家族が参加できるように取り組むことを期待したい。
5	(4)	<b>○市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議やホームの催し物への案内を行っている。入居の状況やホームの取り組みについても知っていただき、密接な関係作りができるように努めている。	市担当者には入居状況や事業所の取り組み等の連絡・相談をしている。地域包括支援センターとは運営推進会議等で実情を伝え、ケアに関する相談などを通じ日頃から関係作りに取り組んでいる。	
6	(5)	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、毎年1回以上は、職場内研修のテーマに取り上げて、マニュアルに沿って具体例をあげながら、正しく理解できるように努めている。	外部研修の伝達講習を行うほか、内部研修でも身体拘束防止のマニュアルに沿った具体事例の話し合いで理解を深めており、特に言葉による拘束がないよう職員間で気をつけている。外出傾向のある利用者は現在は落ち着いており、行動を制止することなく、安全に見守る体制を作っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている	職場内研修でも、虐待防止のマニュアルや受講した研修をもとに、知識や理解を深めている。運営推進会議などで、家族や地区の方にも研修内容を聞いていただき、広く注意を払っていただくように努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職場内研修で、テーマに用いることで職員の理解を深めるとともに、すでに利用されている入居者の方もいる事から、十分理解が出来ていると思われる。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	申し込み時や契約時に、内容については十分説明を行っている。契約後の改定などがあれば、個別に説明を行い、納得していただいている。		
10	(6)	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホームの入り口には意見箱を設置し、いつでも意見や要望をいただけるようにしている。以前、受けた苦情は、ご家族の了承をいただいたうえで、運営推進会議で報告させていただいた事もあり、運営に反映させるようにしている。	家族の面会時や毎月の事業所だよりで個別に利用者の近況報告を行い、意見を聞く機会を設けている。家族会はあるが出席が少なく、家族同士で気軽に話し合う機会が設けられていない。	運営推進会議等で家族会について話し合い、家族同士で気軽に何でも意見が出せる場の設定に向けて取り組んでいくことを期待したい。
11	(7)	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月例会の時や、毎日の申し送り時に、職員から出た意見は、毎月の代表者との会に提案するような仕組みができており、運営し反映させている。	毎日の申し送りや月例会では職員から積極的な意見が出されており、利用者のケアに関する意見のほか、物品購入や職員の勤務体制の変更などの要望があり、管理者が意見や要望を代表者との会に提案をして運営に反映させている。	
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	月に一度は、代表者や他のホームとの会合を持ち、職場でのカンファレンスも行っている。職場の問題点や整備について、毎日の報告書に要望を掲げるなどしており、条件の整備に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<b>○職員を育てる取り組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	講習会や研修の案内を順次掲示し、各自に参加を呼びかけている。法人内でも、勉強会を行うなどトレーニングの機会を設けている。		
14		<b>○同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム協会の研修や、近隣のグループホームの連絡会の意見交換の場があり、職場に持ち帰り、サービスの質の向上に活かせるようにしている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>○初期に築く本人との信頼関係</b> サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面談時には、家族やマネージャーから十分な聞き取りを行い、本人からの要望も十分に考慮したうえで対応し、安心できるような関係が構築できるように努めている。		
16		<b>○初期に築く家族等との信頼関係</b> サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族からは、入居に至る経緯や、要望、不安に思うことをよく聞き取り、話し合い、ご家族の納得のいくようなサービスの提供ができ、信頼できる関係が築けるように努めている。		
17		<b>○初期対応の見極めと支援</b> サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や、ご家族の話をよく聞いた上で、双方の意向を見極め、お互いが納得したうえで、サービスの提供を行っている。		
18		<b>○本人と共に過ごし支えあう関係</b> 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	個々の能力に見合った家事参加や作業など、職員と入居者が協働していける場を設けるようにし、時には意見を、時には教えをいただき、共に暮らしているという、関係を築くように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p><b>○本人を共に支えあう家族との関係</b></p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>ご家族がいつでも訪問しやすい雰囲気を感じ、面会時には、近況報告を行なうなどし、時にはご家族からの情報をいただきながら、共に本人を支えていく関係を作るように務めている。</p>		
20	(8)	<p><b>○馴染みの人や場との関係継続の支援</b></p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>地区の敬老会に参加したり、行きつけの美容院に行くなど、馴染みの人や場所とのつながりが持てるように支援している。</p>	<p>利用者の生活歴を把握して地区の催しや行きつけの理美容院に職員が同行したり、家族の協力で馴染みの喫茶店を利用し、正月には外泊・外出して親族と交流を持つなど、関係継続の支援に努めている。</p>	
21		<p><b>○利用者同士の関係の支援</b></p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>それぞれの関係を把握し、席を配慮したり、孤立しないように、職員が中に入るなどして、利用者同士が関わりをもてるように努めている。</p>		
22		<p><b>○関係を断ち切らない取組み</b></p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後も、ご家族とのこれまでの関係を大切に、必要に応じて相談に応じたり、支援に努めている。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	<p><b>○思いや意向の把握</b></p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日常の会話の中から、一人ひとりの希望や意向を把握していくようにしており、把握するのが困難な場合は、本人の立場で考えるようにしている。</p>	<p>入居時には、本人の希望、要望をアセスメントし把握に努めている。趣味の編み物、将棋、ぬり絵、カラオケなどの楽しみの時間を持つよう支援している。意思疎通の困難な利用者には、家族から情報を得たり仕草や表情で意向を汲み取っている。</p>	
24		<p><b>○これまでの暮らしの把握</b></p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時には、十分な聞き取りを行い、これまでの生活や環境、サービス利用の状況、入居に至るまでの経緯を把握するようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		<b>○暮らしの現状の把握</b> 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の暮らしの中で、その方の心身の状態を見ながら、有する力を発揮でき、過剰な介護にならないように見極めるようにしている。		
26	(10)	<b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b> 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者、ご家族とよく話し合い、双方の意向を十分にふまえた上で、かかりつけ医や訪問看護師の意見等も参考にしながら、カンファレンスを行い、現状に即した介護計画になるようにしている。	入居時の介護計画は1カ月で見直し、利用者、家族に希望を聞き、かかりつけ医や訪問看護師の意見も取り入れ、全職員でカンファレンスを行って介護計画を作成している。モニタリングにより定期的に見直し、状況の変化があればその都度見直している。	
27		<b>○個別の記録と実践への反映</b> 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護計画にそって、日々の様子やケアの内容を記録している。特記事項は色を変える等してして分りやすく工夫している。また、朝夕の申し送りを行い、職員間での情報の共有が出来るようにしている。必要があれば見直しを行っている。		
28		<b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b> 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	受診や美容院など、その時のご家族の状況に応じて、柔軟に対応している。		
29		<b>○地域資源との協働</b> 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	運営推進会議に参加くださった地区の方からの情報や、公報から得た情報などを基に、地域資源を把握し、個々に見合った活動ができ、生活を楽しむことができるよう支援している。		
30	(11)	<b>○かかりつけ医の受診支援</b> 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時には、本人やご家族の希望をもとに、納得されたかかりつけ医を決めている。ご家族の付き添い時には、ホームからの情報提供を行うなど、かかりつけ医と事業所との関係も築けるようにしながら、必要に応じ適切な医療を受けられるように支援している。	利用者・家族の希望するかかりつけ医に受診している。通院には家族が付き添い、利用者と家族の関わりを大切にしている。受診時は家族に情報提供を行い、受診結果は家族から報告を受け、記録により職員間で共有している。訪問看護や往診もあり、適切な受診支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<b>○看護職との協働</b> 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問看護時には、ホームからの情報や気づきを伝え、相談するなどし、受診が必要であれば、適切にアドバイスをもらったりしている。		
32		<b>○入退院時の医療機関との協働</b> 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には職員が同行し、情報提供を行うなどして、安心して治療ができるように努めている。また、ホームの利用者である旨を伝え、早期に退院できるよう連絡をとりあい、関係作りに努めている。		
33	(12)	<b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にはご家族には説明を行い、同意を得ている。早い段階で、ご家族とかかりつけ医との話し合いを行い、事業所に対応できることを説明するとともに、話し合いを重ねながら、方針を共有していくように取り組んでいる。	入居時に指針に基づき、重度化や看取りについての説明を家族に行い、同意を得ている。母体の医療機関と連携を密にし、チームで取り組む体制ができている。これまでに看取りの事例もあり、家族に安心してもらえるように話し合いを重ねて、支援に取り組んでいる。	
34		<b>○急変や事故発生時の備え</b> 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	毎年、全職員が参加できるように日程を組み、救命講習に参加している。心肺蘇生法や誤嚥時の対応などの訓練を受けている。		
35	(13)	<b>○災害対策</b> 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練を行っており、運営推進会議の際に、ご家族や地区の方との情報交換を行いながら、避難場所の検討や協力体制作りをしている。	年2回の防災訓練を実施し、公民館での防災会にも参加して情報交換をしている。訓練では地域住民の協力により、地区の避難場所へ車椅子や徒歩で数名の利用者が避難し、10分程度で避難できている。飲料水や非常食、物品の備蓄は3日以上あり、消費期限に応じて補充している。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	<b>○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</b> 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシー保護の勉強会を行い、トイレや入浴時の配慮や、言葉掛けの仕方など、お互いに注意しあうようにしている。	月例会等で内部研修を行い、特にトイレや入浴時などに利用者の尊厳を損なわない言葉かけを行うように取り組んでいる。個人情報の守秘義務についても、職員に周知徹底している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
37		<b>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</b> 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	本人の話を良く聴き、できるだけその方の思いを汲み取りながら、自己決定できるような声掛けになるように努めている。		
38		<b>○日々のその人らしい暮らし</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	職員の都合やペースを優先するのではなく、一人一人のペースに合わせて心がかけている。どのように過ごしたいかは、本人に聞きながら、出来るだけ希望に沿った支援が出来るようにしている。		
39		<b>○身だしなみやおしゃれの支援</b> その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ご家族に好みを聞いておいたり、美容院で自分の好きな髪形にしてもらったりしている。着衣の汚れ等に注意するとともに、清潔に心がけている。また、お出かけの際には、おしゃれして出かけられるよう、支援している。		
40	(15)	<b>○食事を楽しむことのできる支援</b> 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	個々の好みを把握し、メニューに取り入れるように心がけている。また、職員と利用者が一緒に準備をしたり、配膳時に手伝っていただく、片づけを手伝っていただくなどしている。	利用者の希望を取り入れた献立とし、法人の栄養士に栄養面のチェックを依頼している。食材の購入には利用者が同行することもあり、下ごしらえ、片付け、食器拭きなどできることを職員と一緒にいき、刻み、軟飯等食事形態を工夫して、利用者が食事を楽しめるよう工夫している。	
41		<b>○栄養摂取や水分確保の支援</b> 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の量や形態は、個々の状態に合わせており、時々、栄養士に献立をみてもらって、意見をもらったりしている。水分量は、制限のある方もいるが、回数を多くして、十分な摂取が出来るように心がけている。		
42		<b>○口腔内の清潔保持</b> 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に声掛けを行い、義歯をはずしてもらったり、介助したり、個々に応じた口腔ケアをしている。		
43	(16)	<b>○排泄の自立支援</b> 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	個々の排泄パターンを把握し、声掛け、誘導を行い、失敗が少なくなるよう注意している。夜間は、声掛けしてトイレ誘導する方、ポータブルを居室に置いてご自分で行っていただく方、個々の力量に応じた支援を行っている。	排泄パターンを把握し、利用者の様子を見てトイレ誘導を行っている。失敗の回数が少なくなったり、介護度が軽減した利用者もあり、排泄の自立に向けて取り組んでいる。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		<b>○便秘の予防と対応</b> 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日の水分摂取量の把握や、おやつのお工夫、起床時の飲水など予防に努めている。		
45	(17)	<b>○入浴を楽しむことができる支援</b> 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	当日の健康状態を把握し、本人の希望を聞いたり、声掛けにより入浴を行っている。拒否のある方は、時間をおいて、再度声掛けを行なうなどの工夫をしている。	利用者の体調や希望に沿って午前時間帯に入浴を支援している。入浴拒否者もいるが、タイミングをみて声かけを工夫するほか、翌日の入浴にしたり個々の状態に沿った支援を行って、少なくとも週2～3回の入浴ができています。	
46		<b>○安眠や休息の支援</b> 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	いままでの生活習慣で、昼寝や、就寝時間が違っているので、個々を観察し、適度な昼間の休憩や運動を取り入れながら、気持ちよく眠れるように支援している。		
47		<b>○服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	病院で薬剤情報をもらっており、その方の病名と薬、副作用も理解したうえで、服薬時には、本人と薬袋を確認しながら服用していただくようにしている。また、変更時には、日誌に記載して、申し送りするようにしている。		
48		<b>○役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の趣味は、出来るだけやっていたり、日々の生活の中で、役割を持っていたりなどしている。季節の行事を行ったり、食事(おせち・おはぎ)を作ったり、ドライブや買い物で気分転換を図るなどしている。		
49	(18)	<b>○日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	お天気の良い日には、庭で体操やおやつをしている。また、買い物やドライブ等に出かける機会も設けるようにしている。ご家族とお墓参りに出かけたり、地域の敬老会やクリスマス会にも出かけており、桜や菊の花見など、季節を感じていただけるような外出もしている。	日常的な周辺の散歩や庭での体操のほか、地域の催し物、季節ごとの花見、買い物やドライブに出かけており、季節の変化を感じられるように、家族の協力も得て可能な限り全員が外出できるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<b>○お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持し、ご自分で買い物を出る人は少ないが、数人が訪問のパン屋さんでパンを買ったり、出かけたときに、ちょっとした買い物を楽しんでいる。		
51		<b>○電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があれば、手紙をだしたり、電話をかけたが、家族等とのやり取りができるように支援している。		
52	(19)	<b>○居心地のよい共用空間づくり</b> 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日中の採光には注意し、適度な換気や、テレビの音量に注意している。また、季節の花を飾るなど、居心地良く過ごせるように工夫している。	居間兼食堂は適度な換気や採光に配慮し、窓際にソファを配置してゆったり過ごせるようにしている。季節の花を飾り、利用者が作成した貼り絵や行事の写真などを壁面に掛けて、親しみのある共用空間にしている。	
53		<b>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b> 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	気の合う同士が、隣に座って話をされたり、一人で居間で本を読んだり、テレビを見て過ごされたり、それぞれが、思い思いに過ごせるように、座る場所や席の工夫を行っている。		
54	(20)	<b>○居心地よく過ごせる居室の配慮</b> 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時には、使い慣れた物をもってきていただくように説明している。写真や絵を飾ったり、仏壇を持ってこられたり、本人の居心地のよい空間をつくれるように工夫している。	利用者の使い慣れた家具、仏壇、寝具、衣類、家族写真など好みの物を配置し、自宅との差異が少なく、安心して落ち着いて暮らせる居室になるよう工夫している。	
55		<b>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</b> 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下や風呂場には手摺りを設け、玄関の段差は少なくしている。トイレや風呂場は分りやすいように表示して、安全に自立した生活ができるように工夫している。		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)							
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)		1. ほぼ全ての家族と
			2. 利用者の2/3くらいの			○	2. 家族の2/3くらいと
			3. 利用者の1/3くらいの				3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんど掴んでいない				4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)		1. ほぼ毎日のように
			2. 数日に1回程度ある				2. 数日に1回程度
			3. たまにある			○	3. たまに
			4. ほとんどない				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)		1. ほぼ全ての利用者が	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)		1. 大いに増えている
		○	2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 少しずつ増えている
			3. 利用者の1/3くらいが				3. あまり増えていない
			4. ほとんどいない				4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目:11,12)		1. ほぼ全ての職員が
			2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 職員の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての利用者が
			2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		1. ほぼ全ての家族等が
			2. 利用者の2/3くらいが			○	2. 家族等の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが				3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない				4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が				
			2. 利用者の2/3くらいが				
			3. 利用者の1/3くらいが				
			4. ほとんどいない				

# 自己評価および外部評価結果

ユニット名: 大空

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	<b>○理念の共有と実践</b> 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域社会へ生活の場を広げていく事を運営理念の1つに挙げている。月例会・運営推進会等で共有と実践に取り組んでいる。		
2	(2)	<b>○事業所と地域とのつきあい</b> 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	敬老会や忘年会などの地区の行事に参加や手伝い等をし、地域の方々と交流する機会を作っている。		
3		<b>○事業所の力を活かした地域貢献</b> 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議でホームの取り組みや研修状況等を民生委員や地区の方などに知っていたり、敬老会に参加した際に、グループホームについて話をさせていただいている。		
4	(3)	<b>○運営推進会議を活かした取り組み</b> 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者の様子やホームでの活動について報告し、参加者との意見交換やアドバイスを頂き、サービスの向上に取り組んでいる。		
5	(4)	<b>○市町村との連携</b> 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議やホームでの催し物の案内を行い、報告や相談ができる関係作りに努めている。		
6	(5)	<b>○身体拘束をしないケアの実践</b> 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束の禁止事項や弊害について、マニュアルや研修を通して職員全員が理解を深め、拘束をしないケアを実践している。		

7		<b>○虐待の防止の徹底</b> 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	講習会の報告を行い、職員全体が虐待について学び、見過ごす事がないように防止に努めている。		
8		<b>○権利擁護に関する制度の理解と活用</b> 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	講習会の報告を行い、職員が学び、活用できるように支援している。また、すでに制度を利用されている方もいる。		
9		<b>○契約に関する説明と納得</b> 契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には十分に説明を行い、理解と納得を得られるようにしている。文章で提示しながら、十分説明し理解と納得を得ている。		
10	(6)	<b>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</b> 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置し、ホーム内に苦情・相談ポスターを提示し、いつでも意見・要望を言い易いように配慮している。又、運営推進会議等でも対応している。		
11	(7)	<b>○運営に関する職員意見の反映</b> 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	個別に随時に相談にのる機会を設けている他、月例会等で意見を出し合い、必要に応じ代表者に報告し運営に反映させている。		
12		<b>○就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	労働時間について個別に話し合い、勤務変更にも柔軟に対応している。又、職員個々の努力や実践等も把握しており、向上心を持って働けるよう取り組んでいる。		

13	<p><b>○職員を育てる取り組み</b></p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>講習会等の案内を提示し、自主参加や参加の呼びかけを行っている。又、法人内や月例会でも勉強会を行っている。</p>		
14	<p><b>○同業者との交流を通じた向上</b></p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡会や近隣のグループホームが集まる勉強会等に参加し、事例検討や取り組み等を話し合い、交流し向上に努めている。</p>		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15	<p><b>○初期に築く本人との信頼関係</b></p> <p>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用者本人から要望を聞き、職員に対応を周知し、利用者との信頼関係を築き、ホームでの生活をしていただいている。</p>		
16	<p><b>○初期に築く家族等との信頼関係</b></p> <p>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>ご家族等からの入居の経緯や要望等に耳を傾け時間をかけて話し合い、納得してサービスを利用して頂くように努めている。</p>		
17	<p><b>○初期対応の見極めと支援</b></p> <p>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>本人・ご家族それぞれの意向を聴き・本人にとって必要なサービスを見極め対応するようにしている。</p>		
18	<p><b>○本人と共に過ごし支えあう関係</b></p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>利用者一人一人の個別性を見極め、家事や買い物等に参加できるように努めている。又、利用者の特技等を職員が教えてもらったり、共に過ごし関係を築いている。</p>		

19		<p><b>○本人を共に支えあう家族との関係</b></p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族がいつでも気軽に訪問しやすい環境にするように心がけ、面会時に近況報告を行ったり、ケアプランに家族の意向を加え、家族と共に本人を支えていく関係を築くようにしている。</p>		
20	(8)	<p><b>○馴染みの人や場との関係継続の支援</b></p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>本人のこれまでの生活歴をふまえ、馴染みの美容室に行ったりと関係が途切れないようにしている。</p>		
21		<p><b>○利用者同士の関係の支援</b></p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>仲の良い利用者同士で会話ができるように席を工夫したり、利用者同士でコミュニケーションが図れるように工夫したり、孤立せず生活できるようにしている。</p>		
22		<p><b>○関係を断ち切らない取組み</b></p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>契約終了後も家族との信頼関係を大切にしている。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	<p><b>○思いや意向の把握</b></p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者一人一人との日常会話や行動の中から意向や希望の把握に努めている。</p>		
24		<p><b>○これまでの暮らしの把握</b></p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居時に本人・家族・病院・ケアマネジャーからこれまでの生活歴や状況を聴き、入居に至るまでの経緯を把握している。</p>		

25		<p><b>○暮らしの現状の把握</b></p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>利用者一人一人の心身状態や日々の過ごし方等を把握しながら、本人に合った過ごし方ができるよう努めている。</p>		
26	(10)	<p><b>○チームでつくる介護計画とモニタリング</b></p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画の作成にあたっては、本人・家族の意向をふまえ、職員の意見も交え作成している。</p>		
27		<p><b>○個別の記録と実践への反映</b></p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の生活やケアを個人記録に記入し、申し送りを行い情報を共有している。プランの見直し時には記録をもとに検討している。</p>		
28		<p><b>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</b></p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>通院や理美容の利用等、その時の家族の状況に応じて柔軟に対応している。</p>		
29		<p><b>○地域資源との協働</b></p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>民生委員や地域の方から情報提供を受けたり、一人一人に合った催し物や行事への参加ができるようにしている。</p>		
30	(11)	<p><b>○かかりつけ医の受診支援</b></p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居時に本人・ご家族の希望を聴き、かかりつけ医を決定している。家族が行けない時はスタッフが同行し、家族に報告を行う等柔軟に対応している。</p>		



31		<p><b>○看護職との協働</b></p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>週1回看護師の訪問があり、状態を報告し、指導や助言を受け、必要に応じて受診する等し、健康管理に努めている。</p>			
32		<p><b>○入退院時の医療機関との協働</b></p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時にはできる限り職員が同行し、経過を見て病院や家族と話し合い、早期に退院できるように支援している。</p>			
33	(12)	<p><b>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</b></p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>早い段階から家族やかかりつけ医との話し合いをもち、事業所に対応できる事を説明し、かかりつけ医と連携を取りながらチームで支援に取り組んでいる。</p>			
34		<p><b>○急変や事故発生時の備え</b></p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>毎年職員が全員救急救命講習に参加しており、心肺蘇生・応急手当・AEDの使い方等の訓練を行っている。</p>			
35	(13)	<p><b>○災害対策</b></p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回避難訓練を行い、水害や火災・地震等色々な場面を想定したり、反省会を行ったりしている。又、近所の方にも呼びかけ、訓練に参加してもらい協力をお願いしている。</p>			
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	(14)	<p><b>○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</b></p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>言葉かけに配慮し、プライバシーを傷つけないようにしている。個人情報についても漏洩がないように十分注意している。</p>			

37		<p><b>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</b></p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>できる限り本人の希望を大切にし、自由に物事を決められるように援助している。</p>		
38		<p><b>○日々のその人らしい暮らし</b></p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の生活習慣や健康状態に合わせ、無理なく生活できるように援助している。</p>		
39		<p><b>○身だしなみやおしゃれの支援</b></p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>美容院は本人の希望に合わせてスタッフと行っている。モーニングケア・ナイトケアも本人の状態を見て行っている。</p>		
40	(15)	<p><b>○食事を楽しむことのできる支援</b></p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食べたい物や、好き嫌いを聞いたり、調理の下ごしらえ、盛り付け、食器拭き等一人一人のできる事を判断しスタッフと一緒にしている。</p>		
41		<p><b>○栄養摂取や水分確保の支援</b></p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>毎日のメニュー・食事・水分量等を日誌に記録している。又、嚥下状態や口腔内の状態に合わせ、刻み等の形態や、好みに合わせた物を提供している。</p>		
42		<p><b>○口腔内の清潔保持</b></p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>毎食後全員が口腔ケアを行っている。義歯を使用している人は義歯を外し、個人の能力に合わせた口腔ケアを行っている。</p>		
43	(16)	<p><b>○排泄の自立支援</b></p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>日中・夜間共に本人に合わせたケアを行っている。夜間もトイレ誘導をする等オムツを使用しないケアに取り組んでいる。</p>		

44		<p><b>○便秘の予防と対応</b></p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>こまめに水分を提供し、声掛けを行い、水分摂取を促している。毎日ラジオ体操を行い、運動も働きかけ、なるべく下剤等に頼らない適切な排便が促せるように取り組んでいる。</p>		
45	(17)	<p><b>○入浴を楽しむことができる支援</b></p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている</p>	<p>本人の入浴の希望や時間を聞いている。拒否がある時は無理強いせず、タイミングや声掛けを工夫し、納得してもらい入浴している。</p>		
46		<p><b>○安眠や休息の支援</b></p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>本人のペースや体調に合わせて、一人一人に応じて休息出来るようにしている。</p>		
47		<p><b>○服薬支援</b></p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個人別に処方箋をファイルにし、常に確認できるようにしている。体調や症状に変化があった時には、医師や訪問看護師に相談し、すぐに対応している。</p>		
48		<p><b>○役割、楽しみごとの支援</b></p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>生活歴や趣味・能力を活かして、家事やレクリエーションに取り組み、役割を持ち、又気分転換をして楽しめるように努めている。</p>		
49	(18)	<p><b>○日常的な外出支援</b></p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>買い物やドライブ等外出の機会を作っている。家族と外出される事もあるが、外出が少ない方もいる為、季節に応じて行事や催し物にも参加している。</p>		

50		<p><b>○お金の所持や使うことの支援</b></p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ホームでお金を預かり、買い物時には自分で払ったり、必要な時はいつでも使えるようにしている。</p>		
51		<p><b>○電話や手紙の支援</b></p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族から手紙が来たり、電話が本人にかかってくることもあり、又本人の希望があればこちらから電話するなどの対応を行っている。</p>		
52	(19)	<p><b>○居心地のよい共用空間づくり</b></p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>各居室やリビング、全ての空間の清潔の維持に努めている。気温や日差し等季節や天候に合わせて柔軟に対応し、花を飾る等工夫している。</p>		
53		<p><b>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</b></p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>リビングには一人かけの椅子や共同のソファがあり、本人の好きな場所で過ごせるように工夫している。又、仲の良い利用者同士で過ごせる配慮もしている。</p>		
54	(20)	<p><b>○居心地よく過ごせる居室の配慮</b></p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に使い慣れた馴染みの物や好みの物を持って来てもらい、不自由がないように家族とも話し合い、手すりや家具を配置するよう工夫している。</p>		
55		<p><b>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</b></p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>リビング以外の共用空間には手すりが設置されている。トイレ・風呂は1人用で個人のペースに合わせた対応が出来るようになっている。</p>		

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目)				
項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		